

業務用加湿器 FE-KXP23 【スネ夫さん】取扱説明書



空気清浄機・加湿器・除湿器レンタル専門店

上州物産 株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL : 027-289-6080

FAX : 027-289-6166



空気清浄機・加湿器・除湿器レンタル専門店
ホームページへアクセスする場合はこちらの
QRコードを読み込んでください。



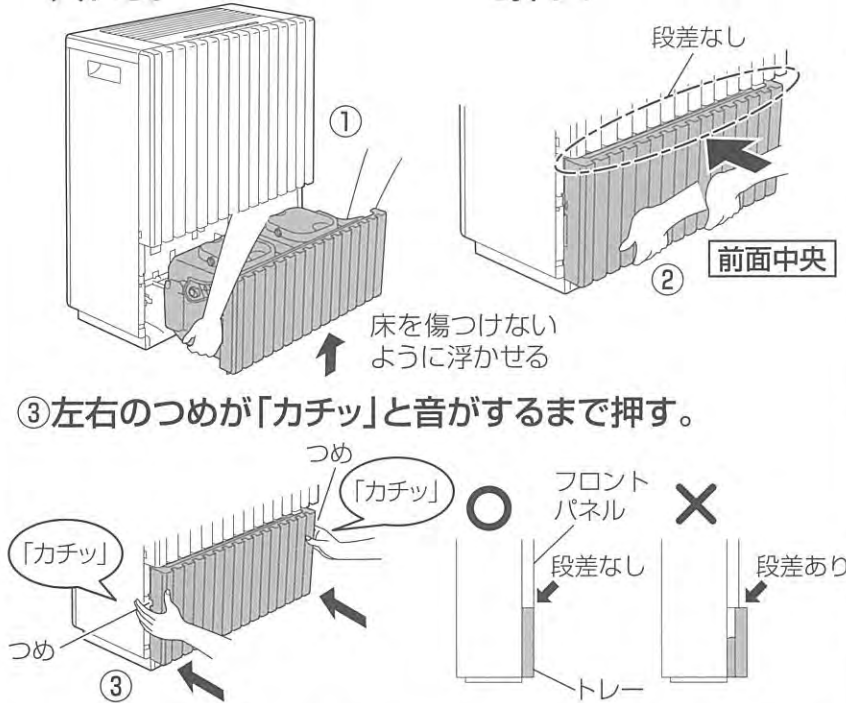
目次

1. 安全上のご注意	2
2. 設置するときのお願い	4
3. 使用上のお願い	4
4. 各部の名前	5
5. 準備する	6
6. 使い方	8
7. お手入れランプが点灯したとき	11
8. 給水のしかた	12
9. お手入れする	14
10. 除菌剤交換の目安	15
11. 加湿フィルターの交換の目安	19
12. 長時間使わないとき	19
13. こんなときは	20
14. 別売品	21
15. もっと知りたいとき	22
16. よくあるお問い合わせ	23
17. 故障かな！？	24
18. 保証とアフターサービス	27
19. 仕様	28

お願い

トレーは奥まで確実に取り付けてください。

- ① トレーの底を持ち本体に入れる。 ② 奥に当たるまで前面中央を押す。



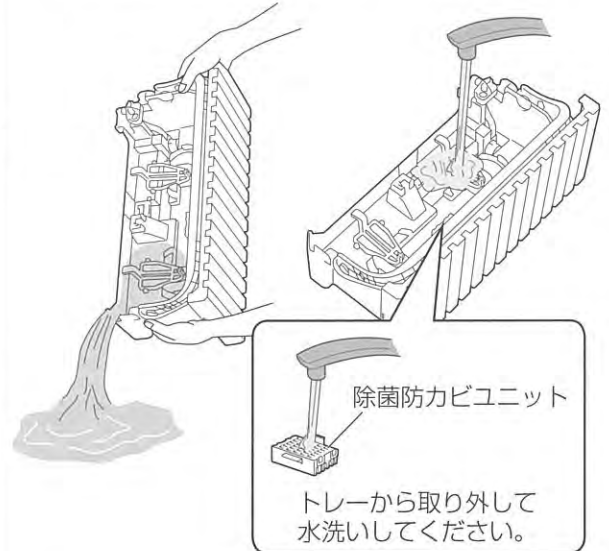
- ③ 左右のつめが「カチッ」と音がするまで押す。

● 確実に取り付けしていないと、においの原因となったり、加湿しないことや、点検ランプが点灯して運転しないことがあります。

給水時は

必ずトレーの水を捨てて、トレーと除菌防カビユニットを水洗いしてください。

(初めてお使いになるときは不要です)



● 水洗いしないと、においの原因となる場合があります。

PFB-594

お知らせ

- ・ 開梱時および運転初期に、本体からニオイがすることがありますが、トレー内に取り付けている除菌剤・防カビ剤特有のニオイで、ご使用とともになくなります。
- ・ 除菌剤は、2シーズン（約12か月）に1回交換してください。
- ・ ナノイー運転中に本体からナノイー発生音（「ジー」など）がしますが、異常ではありません。

お願い

- お手入れについて
- ・ 加湿量の低下やニオイの原因になりますので、加湿フィルターは約3か月に1回（1日8時間ご使用の場合）お手入れしてください。
- ・ 運転時間が約720時間になると、お手入れランプが点灯して運転が停止しますので、加湿フィルターなどのお手入れをしてから運転を再開してください。（詳細は取扱説明書をご覧ください）

PFB-576A

安全上のご注意

必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)


 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

火災や感電などを防ぐために


異常・故障時は

 ■異常時・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(発煙・発火・感電の原因)
<異常・故障例>


- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、運転が止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする

→すぐに運転を止め、電源プラグを抜き、販売店に点検を依頼してください

設置・移動するときは

 ■持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
(コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因)

電源プラグやコードは


 ■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使用しない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)


■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない


- 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど。

(ショートなどによる感電や火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは

 ■ぬれた手で抜き差ししない
(手に付いた水で感電の原因)




 ■根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)


- 傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。


■ホコリなどは、定期的に取り除く
(ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因)

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。


本体は

 ■分解や修理、改造をしない
(発火や異常作動による、けがや感電・火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。

 ■吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない
(内部に触れると、感電やけがの原因)

 ■水につけたり、水をかけたりしない
(ショートなどによる感電や火災の原因)

お手入れは

 ■お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)

⚠ 注意

設置・移動するときは



■ 不安定な場所に置かない
(転倒すると、水がこぼれて感電や火災の原因)

- 転倒したときは、水をふき、十分に乾かしてから電源プラグを差し直してください。

■ 吹出口の風が家具や壁に直接当たる場所に置かない

(シミの原因)

■ 取っ手以外を持って持ち運ばない

(落下してけがの原因)



■ トレーを運ぶときは、トレーハンドルを持つ

(落下してけがの原因)

■ 移動するときは運転を止め、タンクを抜いてトレーの水を捨てる

(水がこぼれて家財などをぬらす原因)

電源プラグを抜くときは



■ プラグ部を持って抜く
(コードが破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)

本体は



■ 穴があいたり、破損したタンクは使用しない
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)



■ タンクの水や本体内部は、常に清潔にする

- タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。
- トレーの水は毎日排水してください。
- 本体内部は、定期的にお手入れしてください。

(汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、まれに健康を害する原因)

→ 体調に異常があったときは、医師にご相談ください。

運転するときは

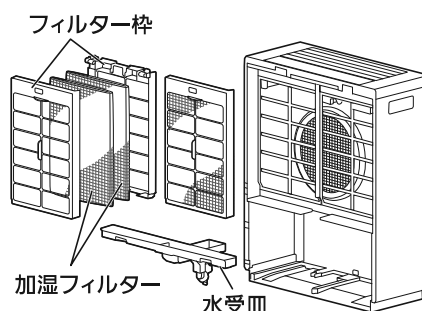


■ 必ず、フィルター枠に加湿フィルターをセットする

(家財などをぬらす原因)

■ 必ず、水受皿をセットする

(家財などをぬらす原因)



次のことをしない



■ 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどをタンクやトレーに入れない

(タンク、トレーが破損して家財などをぬらす原因)

■ 本体を倒さない

(水がこぼれて感電や火災の原因)

■ 本体に座ったり、上に乗らない

(落下や転倒によるけがの原因)

- とくに小さなお子さまにはご注意ください。

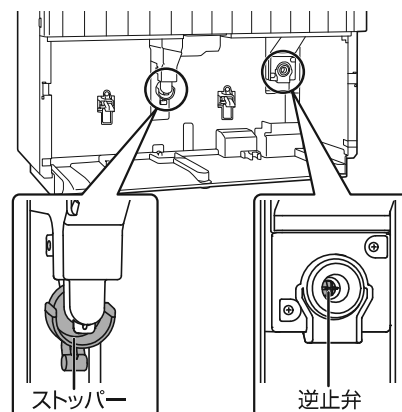
■ 運転中にトレーを取り出さない

(家財などをぬらす原因)

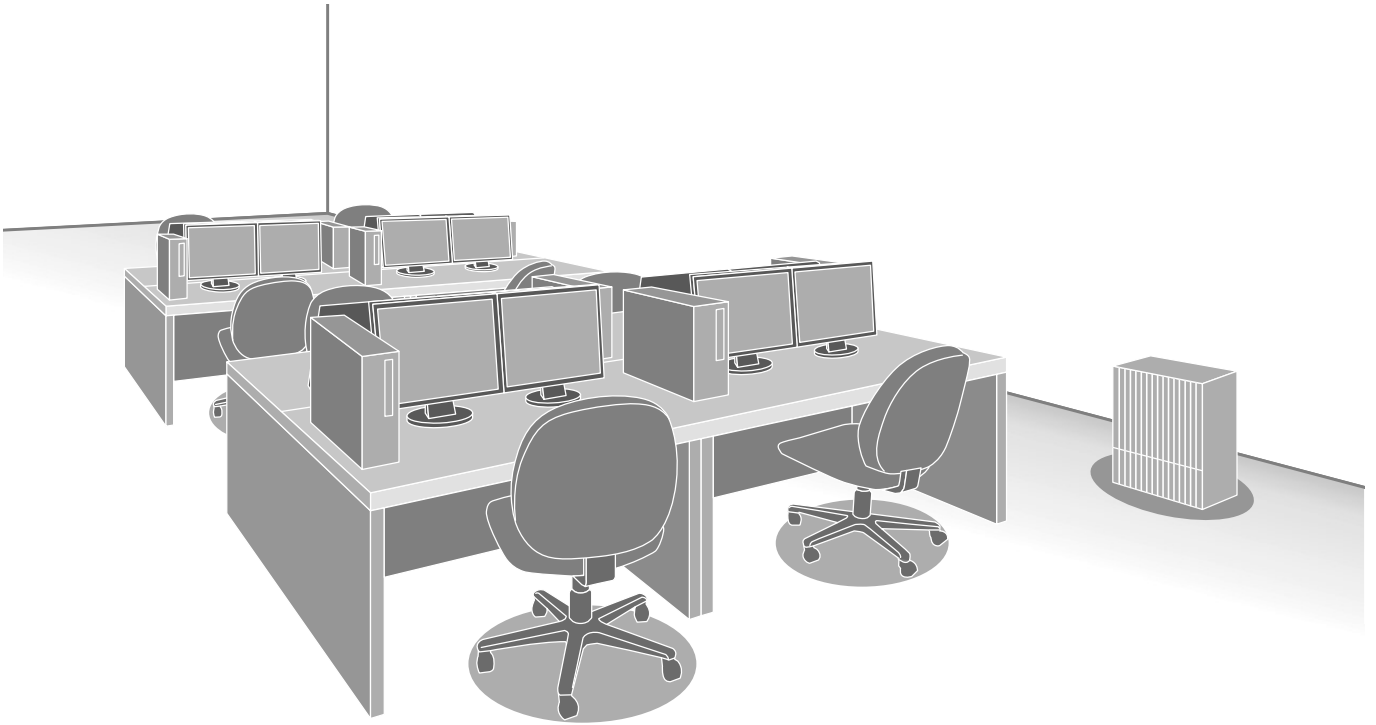
- トレーは運転を停止後、約1分以上経過してから取り出してください。

■ トレーを取り出したときは、本体側にあるポンプ接合部分の逆止弁や水受皿のストッパーを押さない

(家財などをぬらす原因)



設置するときのお願い



■こんな場所には置かない

- 窓際、エアコンの風が当たる場所(湿度センサーが正しく働かない原因)
- 直射日光や暖房機の熱が当たる場所(変形や変質、変色の原因)
- カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所(誤動作や故障の原因)
- テレビやラジオの近く(映像の乱れや雑音の原因)
→ 1 m以上離して置いてください。

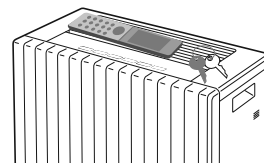
使用上のお願い

■凍結のおそれがあるときは、 タンクとトレイの水を捨てる

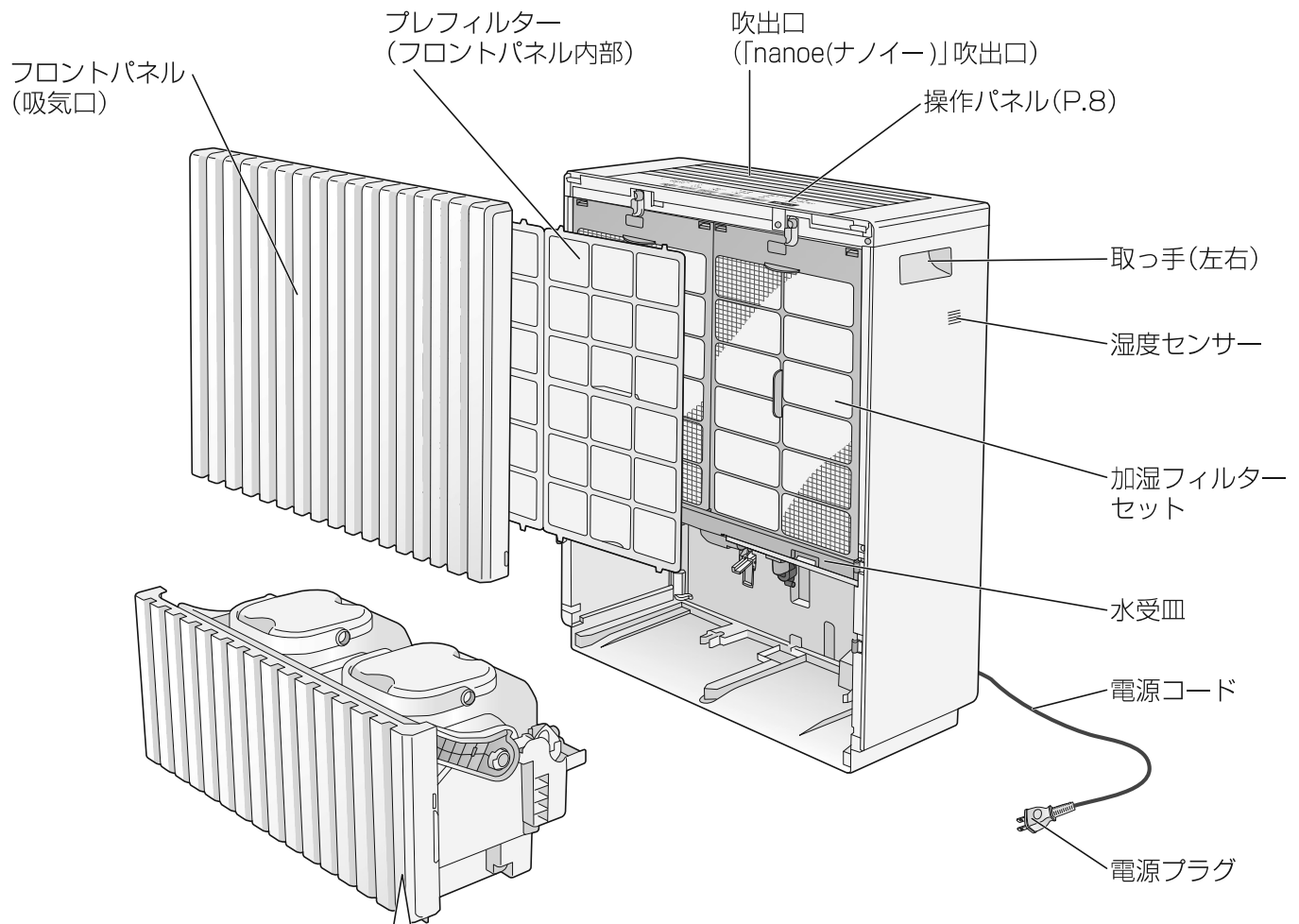
(水が凍結した状態で運転すると、故障の原因)

■本体の上に、物を載せない (誤動作や故障の原因)

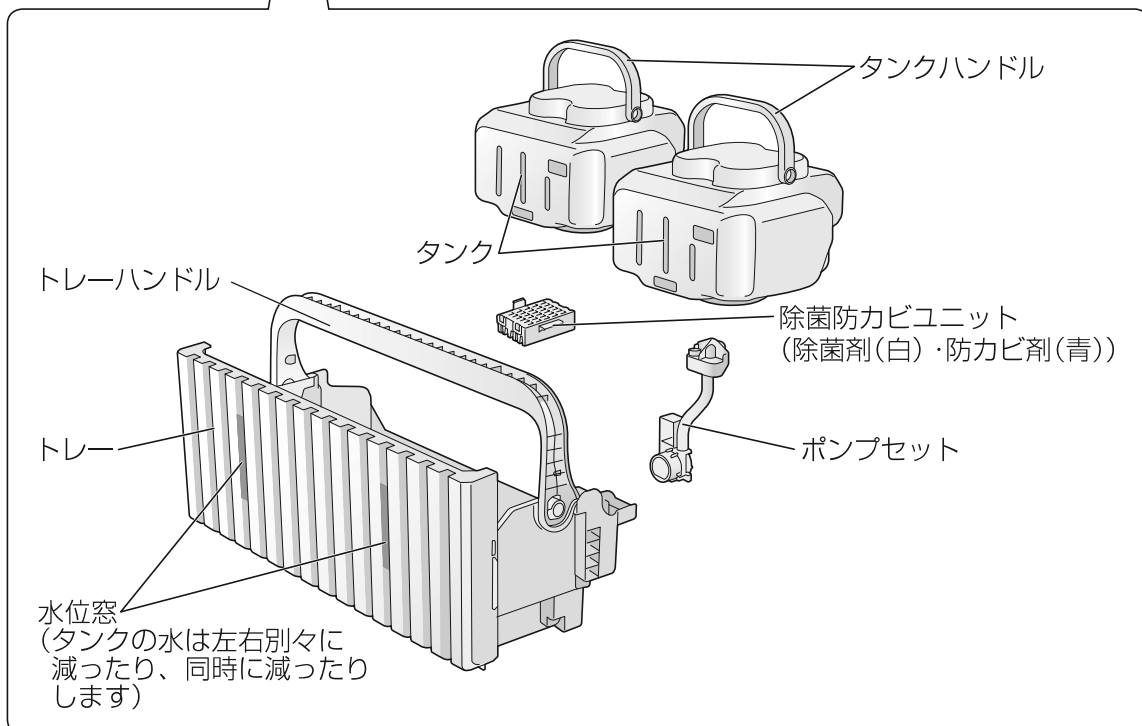
- とくに、磁石や金属物は載せない
(転倒を検知する内蔵磁石が働き、点検ランプが点灯し、
操作ができなくなる原因)



各部の名前



確認・準備

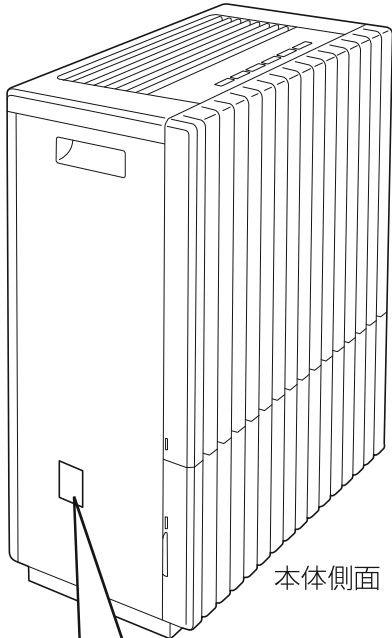


準備する

設置の前に

トレイ・タンクを取り出し、タンクに水を入れる

1 使用開始日を記入する



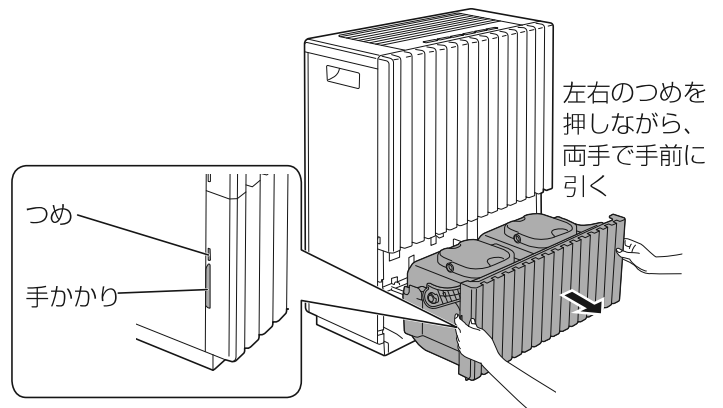
交換用加湿フィルター
品番 FE-ZPE23
(使用開始日 年 月 日)
加湿フィルター交換の目安
約10年(1日8時間運転の場合)

交換用除菌剤
品番 FE-ZPM07
(使用開始日 年 月 日)
除菌剤交換の目安
2シーズン(約12か月)

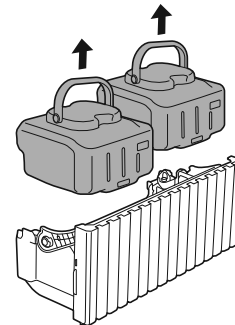
お願い

- 設置の前に必ずP.2~4を参照してください。

2 本体からトレイを取り出す

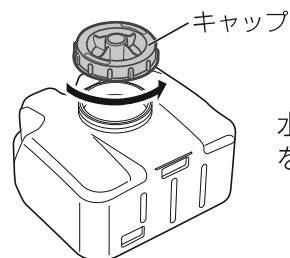


3 トレーからタンクを取り出す



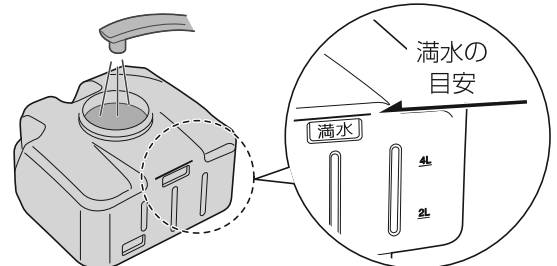
4 タンクに水を入れる

- ① キャップを外す。



水を入れるときは、タンクを上下ひっくり返す。

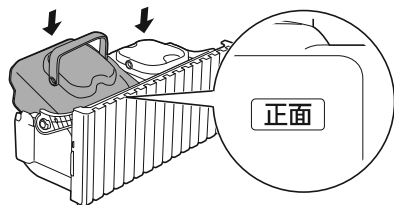
- ② 水を入れ、キャップをしっかり締める。



タンク・トレイを戻す

電源を入れる

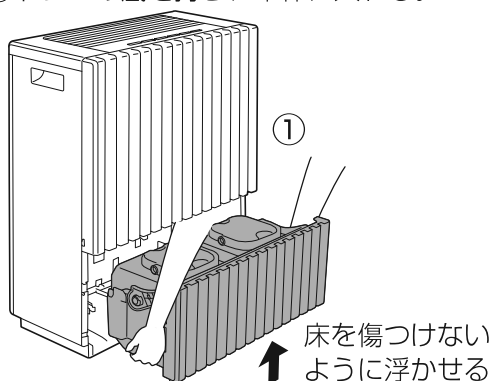
5 タンクをトレイに戻す



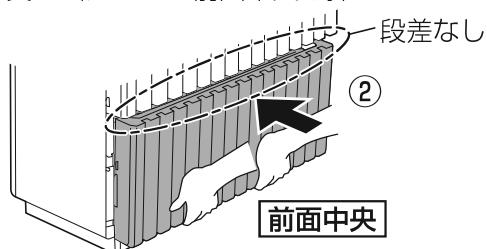
タンクを戻すときは、「正面」の刻印を手前にして戻します。タンクは左右共用ですので、どちらにでも戻せます。

6 トレーを本体に戻す

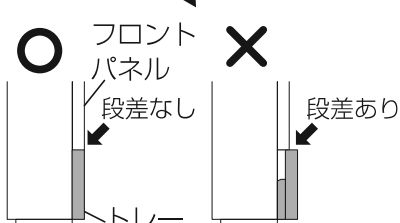
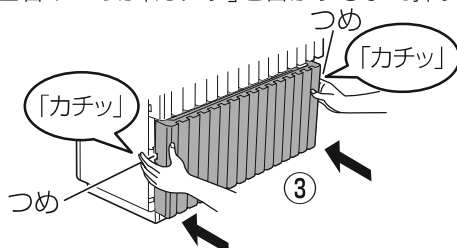
① トレーの底を持ち、本体に入れる。



② 奥に当たるまで前面中央を押す。



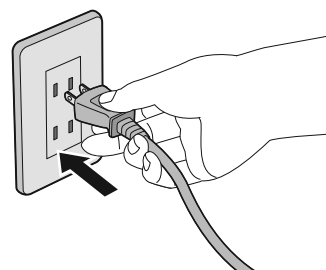
③ 左右のつめが「カチッ」と音がするまで押す。



● トレーは奥まで確実に取り付けてください。確実に取り付けしていないと、ニオイの原因となったり、加湿しないことや、点検ランプが点灯して運転しないことがあります。

7 電源プラグを差し込む

(差し込む前に、電源プラグや手に付いた水はふく)



● 湿度サイン(P.8)が点灯し、現在湿度の目安をお知らせします。

確認・準備

■必ず、水道水(飲用)を使う！

(一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくい)

- 次のような水は、使わない。
 - 40℃以上の温水や洗剤を入れた水 (変形や故障の原因)
 - 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水 (破損して家財などをぬらす原因:P.3)
 - 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水(カビや雑菌が繁殖する原因)

お願い

- やむを得ず井戸水(飲用)を使うときは、トレー、加湿フィルター、フィルター枠のお手入れ回数を増やしてください。

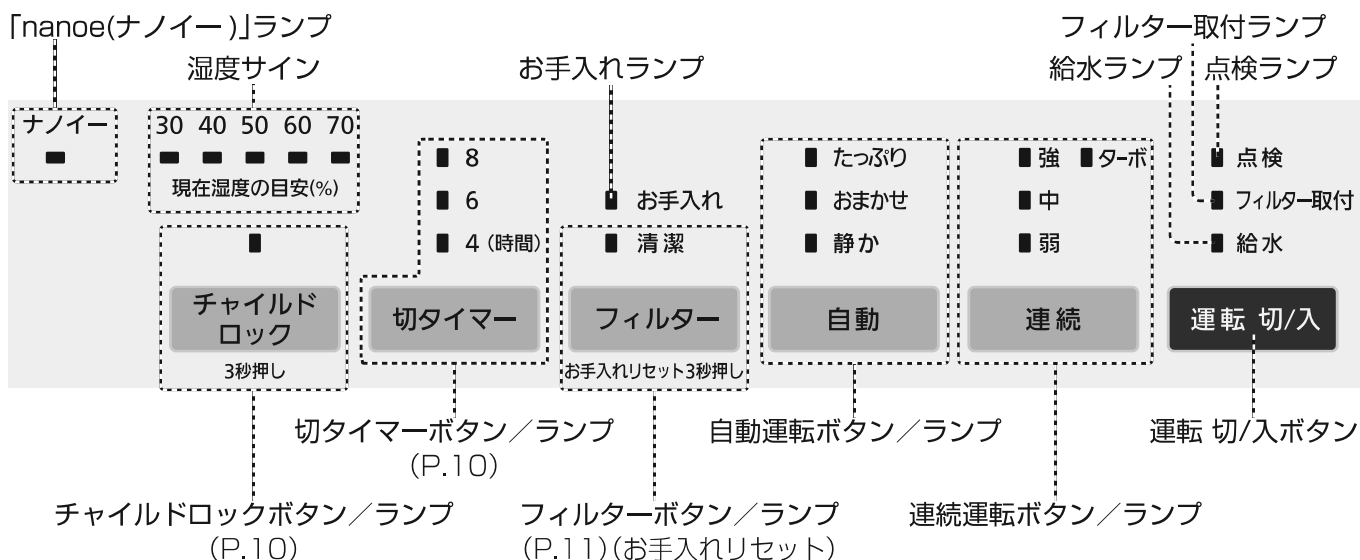
■タンク満水時の連続運転可能時間

- FE-KXP23・・・約5.2時間 (連続「ターボ」運転/室内の温度が20℃、湿度が30%の場合)
- FE-KXP20・・・約6.0時間 (連続「強」運転/室内の温度が20℃、湿度が30%の場合)

使い方

操作パネル

■FE-KXP23 (FE-KXP20は連続運転の「ターボ」がありません。)



「nanoe(ナノイー)」ランプ

- 「nanoe(ナノイー)」の発生を点灯でお知らせします。(すべての運転時に点灯)
- 「nanoe(ナノイー)」を切ることができます。
 - ・運転中に **チャイルドロック** と **フィルター** を同時に約3秒押す。(「nanoe(ナノイー)」ランプ消灯)
 - ・再度発生させたいときは、再度約3秒押す。(「nanoe(ナノイー)」ランプ点灯)

湿度サイン

室内の現在湿度の目安を表示します。
適度な湿度のとき
(緑点灯)



湿度が低いとき
(赤点灯)

湿度が高いとき
(赤点灯)

- 湿度サインは目安です。室内の湿度計の表示と異なることがあります。

お手入れランプ

加湿フィルターなどのお手入れ時期をお知らせします。

- **ランプが点滅 (運転時間 約696時間)**
お手入れ時期が近づいています。
 - ・「運転 切/入」にかかわらず、通電中はずっと点滅します。
- **ランプが点灯 (運転時間 約720時間)**
お手入れ時期になりましたので、**運転を自動停止します**。
 - ・通電中はずっと点灯します。
 - お手入れランプが点灯したとき(P.11)

点検ランプ

- 本体の異常を点灯でお知らせします。
→点灯したとき(P.26)

フィルター取付ランプ

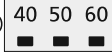
- 加湿フィルターセットが取り付けられていないと点滅します。
→加湿フィルターセットを正しく取り付けてください。(P.18)

給水ランプ

- タンクの水がなくなると、「ピピッ」音が5回鳴って給水ランプが点滅し、運転が停止します。(「静か」「弱」運転のときは、音が鳴りません)
→給水のしかた(P.12)

自動運転／連続運転

1 運転を始める **運転 切/入** を押す

- 押してから約3分間、準備運転を行います。(湿度サインの  が順次点滅)
 - 準備運転中に風は出ません。
- 湯水などで停止した場合、1時間以内に運転を再開すると準備運転は行いません。
- 準備運転終了後、運転を開始します。(湿度サインが現在湿度で点灯)

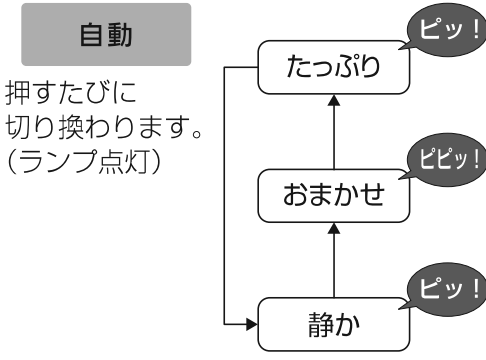
2 運転モードを選ぶ

- 準備運転中でも、運転モードを選ぶことができます。

自動運転 (たっぷり／おまかせ／静か)

室内の湿度に応じて、センサーで運転を自動制御します。
(自動制御時の加湿のしかたの詳細はP.22参照。)

自動
押すたびに切り換わります。(ランプ点灯)



- たっぷり** **ピッ!** 乾燥が気になるとき
湿度約60～65%を目安に「ターボ」(FE-KXP23のみ)「強」「中」で自動運転。
- おまかせ** **ビッ!** 快適な湿度で運転したいとき
湿度約60%を目安に「強」～「弱」で自動運転。
- 静か** **ビッ!** 静かに長時間運転したいとき
湿度約40%を目安に「弱」以下で自動運転。

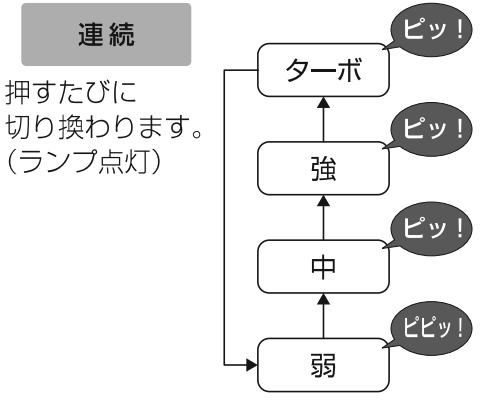
お知らせ

- 湿度が高い場合でも、センサーを安定させるために、運転開始後最長約7分間、送風することがあります。
- 室内の状況によっては、目安の湿度にならないときがあります。(P.23 Q7、P.25 ⑨)

連続運転 (ターボ(FE-KXP23のみ)／強／中／弱)

室内の湿度に関係なく、それぞれの風量で連続運転します。

連続
押すたびに切り換わります。(ランプ点灯)



- ターボ** **ピッ!** すばやく加湿したいとき (FE-KXP23のみ)
- 強** **ピッ!** 加湿量を増やしたいとき
- 中** **ビッ!**
- 弱** **ビッ!** 静かに運転したいとき
加湿のスピードは遅くなります。

3 運転を止める **運転 切/入** を押す

フィルター清潔

運転停止中にフィルター部に「nanoe(ナノイー)」を充満させて、清潔にします。

■ お手入れ

■ 清潔

フィルター

お手入れリセット3秒押し

- 「フィルター清潔」運転中は加湿しません。
- 「フィルター清潔」運転が始まってから24時間後に停止します。(ランプ消灯)

■ 止めるとき

- 再度 **フィルター** を押す、または **運転 切/入** を押す。

■ 予約をするとき

停止中に押す。
(ランプ点滅)

加湿運転中に **フィルター** を押すと、「フィルター清潔」運転の予約ができます。(ランプ点灯)

- 加湿運転停止 (**運転 切/入** を押して停止、湯水で停止、切タイマーで停止)後、「フィルター清潔」運転が始まります。(ランプ点滅)
- 予約を解除したいときは、再度 **フィルター** を押してください。

お手入れランプが点灯したとき (お手入れリセット)

お手入れ時期になるとお手入れランプが点灯して、運転を自動停止します。

■ お手入れ

■ 清潔

フィルター

お手入れリセット3秒押し

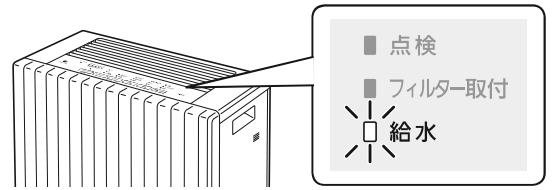
- **運転 切/入** を押しても運転できません。
- 通電中はずっと点灯します。
- 以下の手順でお手入れをしてください。
 - ①電源プラグを抜く。
 - ②トレー、タンクを取り出し、除菌防カビユニット、ポンプセットを外す。
 - ③フロントパネルを外し、プレフィルター、加湿フィルターセット、水受皿を外す。
 - ④プレフィルター、加湿フィルターセット、水受皿、トレー、タンク、除菌防カビユニット、ポンプセットをお手入れ(P.14～19)して、本体に取り付ける。
 - ⑤電源プラグを差し込み、**フィルター** を約3秒押し、お手入れランプを消す。(お手入れリセット)

お願い

- お手入れランプの点灯時期より早くお手入れをされた場合も、**フィルター** を約3秒押ししてください。(運転時間の積算をリセットします)
- お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

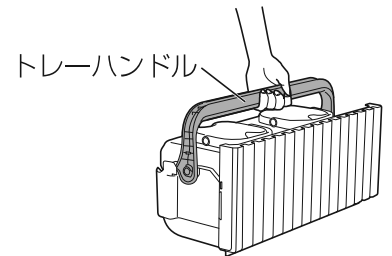
給水のしかた

- タンクの水がなくなると、「ピピッ」音が5回鳴って運転を停止します。(給水ランプ点滅)
- 「静か」「弱」運転のときは、音は鳴らずに運転が停止します。
- 給水するときは運転を停止後、約1分以上経過してから行ってください。



1 本体からトレーを取り出し、タンクを入れたまま持ち運ぶ

- トレーの取り出し方はP.6「準備する」の手順2を参照してください。
- トレーハンドルを持ち、傾けないように移動する。



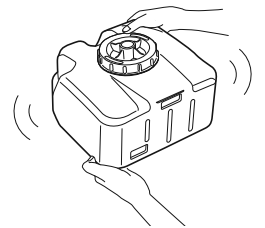
⚠️ 注意



- タンク・トレーを運ぶときはハンドルを持って運ぶ
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)

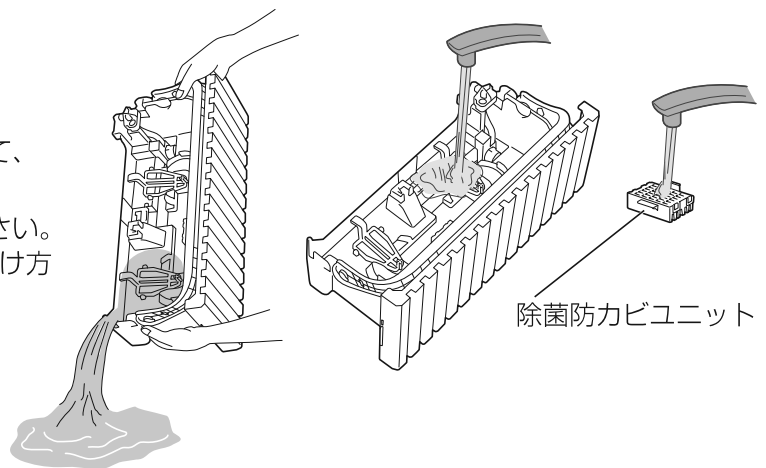
2 タンクをトレーから取り出し、水を入れる

- タンクの取り出し方、水の入れ方はP.6「準備する」の手順3～4を参照してください。
- キャップを開けて、タンク内を軽くふり洗いしてから、水を入れてください。



3 トレー内の水を捨てて、トレーを水洗いする

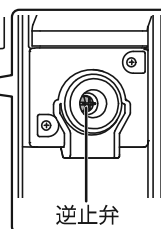
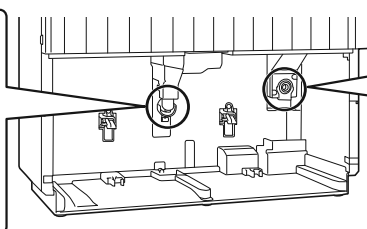
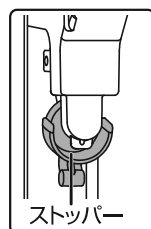
- 給水する際は、必ずトレーの水を捨てて、トレーを水洗いしてください。
- 除菌防カビユニットも水洗いしてください。
(除菌防カビユニットの外し方、取り付け方はP.15参照)



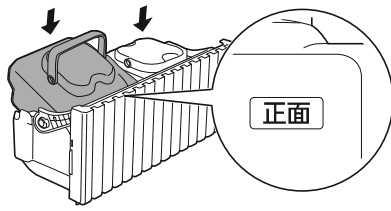
⚠️ 注意



- トレーを取り出したときは、本体側にあるポンプ接合部分の逆止弁や水受皿のストッパーを押さない
(家財などをぬらす原因)



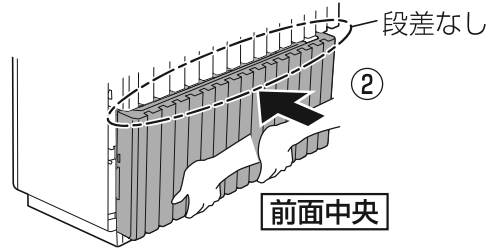
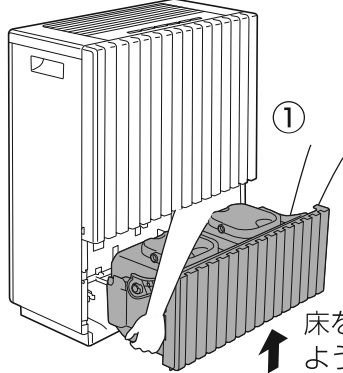
4 タンクをトレーに戻し、トレーを本体に戻す



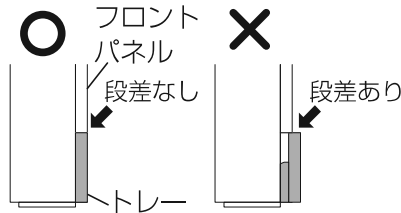
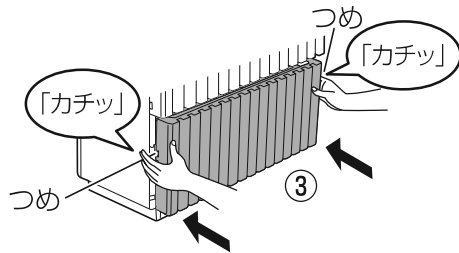
タンクを戻すときは、「正面」の刻印を手前にして戻します。タンクは左右共用ですので、どちらにでも戻せます。

① トレーの底を持ち、本体に入れる。

② 奥に当たるまで前面中央を押す。



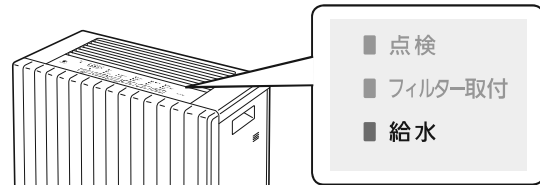
③ 左右のつめが「カチッ」と音がするまで押す。



- トレーは奥まで確実に取り付けてください。確実に取り付けしていないと、ニオイの原因となったり、加湿しないことや、点検ランプが点灯して運転しないことがあります。

5 運転 切/入 を押す

- 給水ランプが消灯します。



6 再度、運転 切/入 を押す

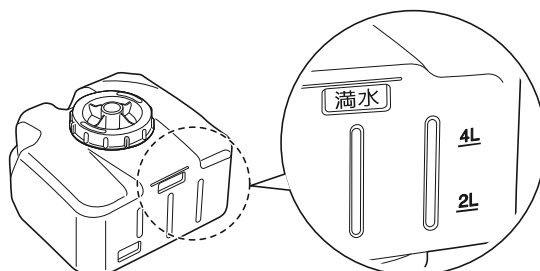
- 運転を開始します。

お知らせ

- タンクは、満水にすると1個につき約6 kgになります。持ち運びが大変なときは、タンクとトレーを別々に運ぶか、タンクの水を少なめにしてください。水を少なくすると、運転時間は短くなります。

■ 水量の目安

タンクには「2L」と「4L」の刻印があります。



お手入れする

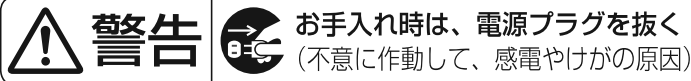
■お手入れランプが点灯したとき、または各部品の所定の期間ごとに行ってください。

下記の場合は、お手入れランプが点灯する前や所定の期間前でも、お手入れしてください。

- ・ニオイがする。 ・水が減りにくい。 ・トレーの水が変色する。

■お手入れ後は電源プラグを差し込み、**フィルター** を約3秒押ししてお手入れリセットをしてください。(P.11)

お手入れの前に



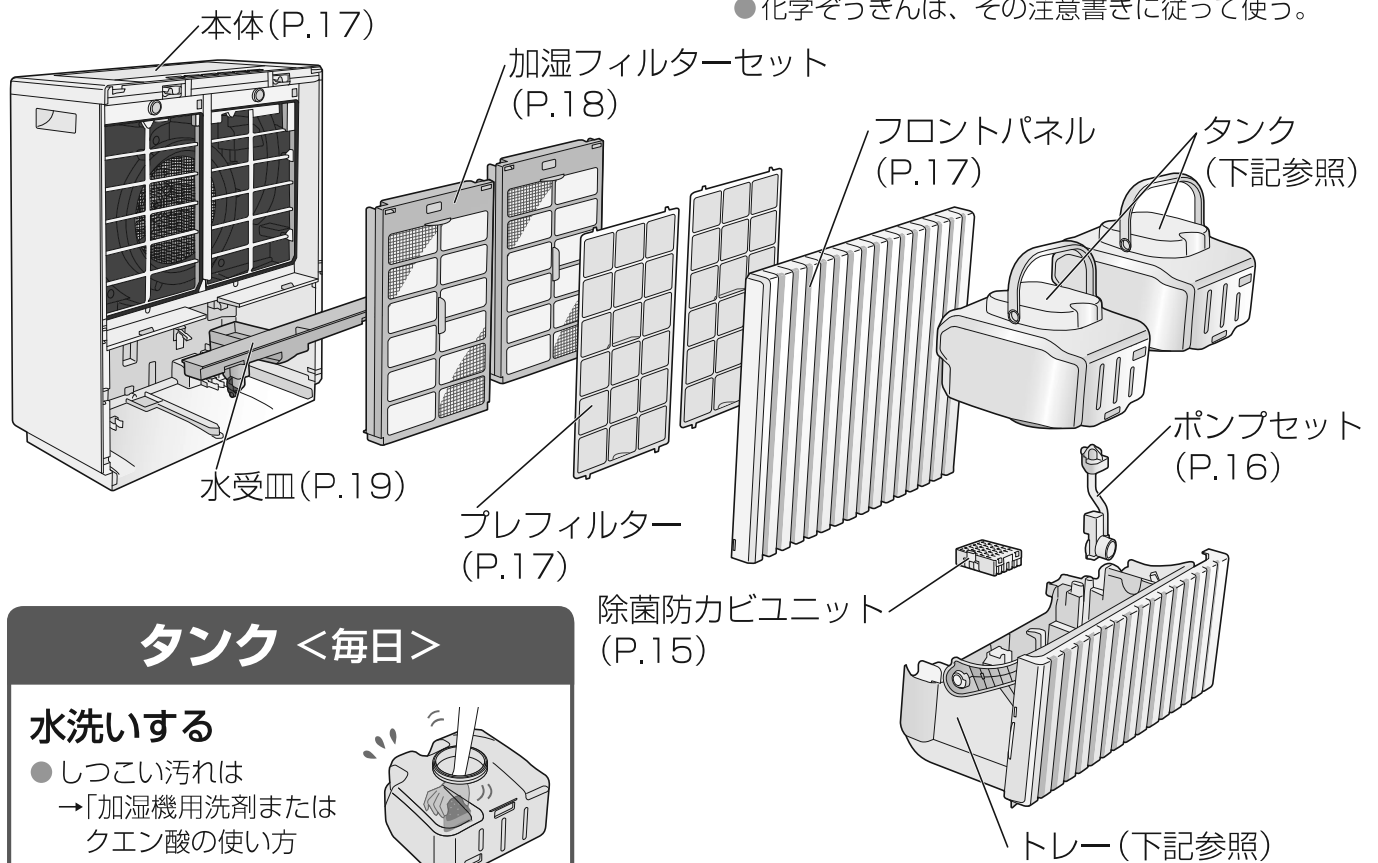
お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)

- 台所用中性洗剤以外の洗剤は使わない。
(樹脂部品の変質・変色・破損の原因)



- 加湿フィルターのみ、酸素系漂白剤をお使いになれます。

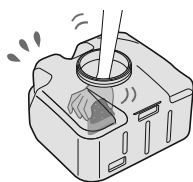
- 化学ぞうきんは、その注意書きに従って使う。



タンク <毎日>

水洗いする

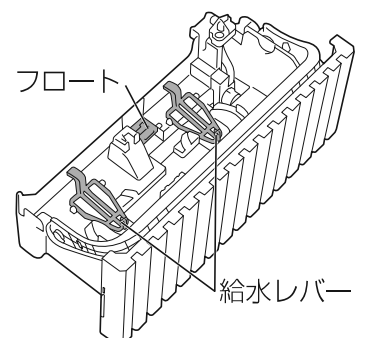
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方 (P.19)」参照。



トレー <毎日>

水洗いする

- 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
- フロート(発泡スチロール)は、外さない。(外れたときは→P.20)
- 給水レバーは、外さない。(外れたときは→P.20)
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方 (P.19)」参照。



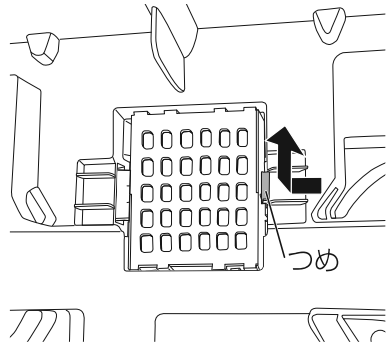
除菌防カビユニット

<毎日水洗い・約3か月に1回つけ置き洗い>

水洗いする

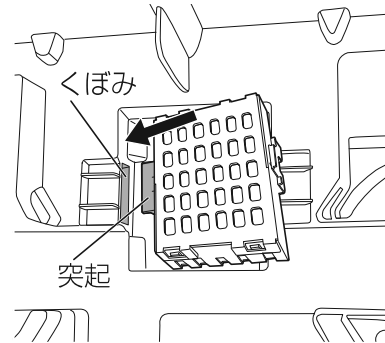
除菌防カビユニットの外し方

除菌防カビユニットのつめを内側に押しながら、引き上げる。



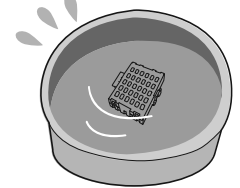
除菌防カビユニットの取り付け方

除菌防カビユニットの突起をトレーのくぼみに引っかけて入れる



加湿機用洗剤などでつけ置き洗いする

- 「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.19)」参照。
- 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
- 除菌剤、防カビ剤はブラシなどでこすったりしない。

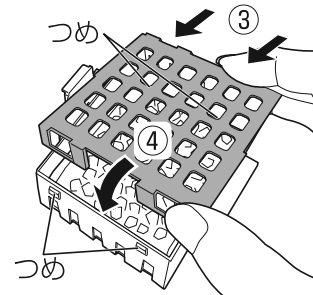
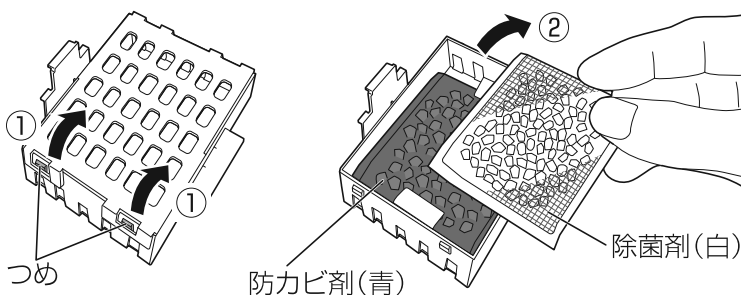


お知らせ

- 除菌防カビユニットから白い粉が出ることがありますが、性能や使用上の問題はありません。
- 除菌剤、防カビ剤は使用とともに小さくなりますが、性能に問題はありません。
- 除菌剤、防カビ剤特有のニオイがすることがありますが無害です。

除菌防カビユニットの除菌剤の交換のしかた

- ① つめ(2か所)を引いて上げて、ふたを外す。
- ② 除菌剤(白)を交換する。
防カビ剤(青)は交換不要なので外さない。
- ③ 片側のつめに引っかけて、
- ④ 反対側のつめをはめ込む。



除菌剤交換の目安

(別売品:P.21)

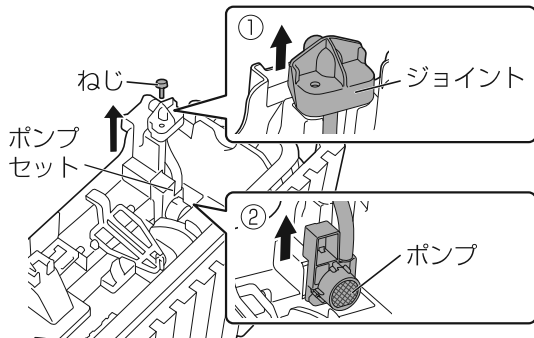
- 約2年に1回です。(1日8時間運転で1年間で約6か月使用した場合)
(1年のうち、使用するシーズン(期間)を6か月と想定して約2年としています)
- 交換後は、使用開始日をラベルに記入し、本体側面に貼ってください。

お手入れする (つづき)

ポンプセット <約3か月に1回>

1 トレーからポンプセットを外す

①ねじを外し、ジョイントをトレーから外す。

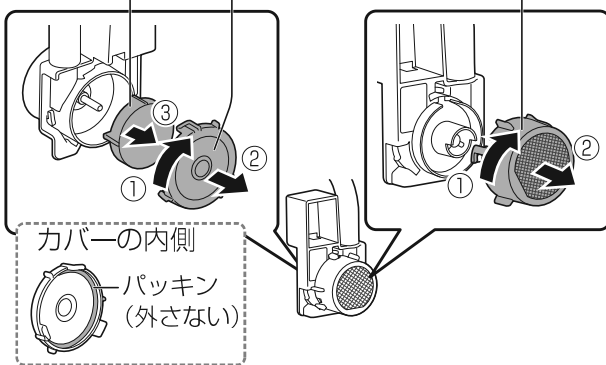


②ポンプセットを引き上げて抜く。

2 ポンプセットからポンプフィルターと羽根車を外す

ポンプフィルターと反対側のカバーを矢印方向(①)にまわし、羽根車を外す。

羽根車 カバー ポンプフィルター



3 水洗いする

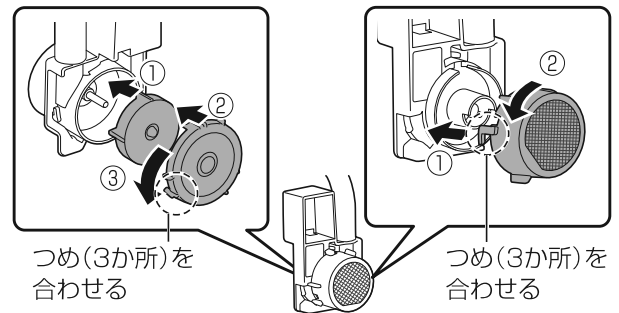
- ホース、パッキンは外さない。
- ポンプフィルターなどの細部は、綿棒や歯ブラシなどで汚れを落とす。
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.19)」参照。

外した部品は確実に取り付けてください。

- タンクの水を本体へ供給できなくなります。
 - 水漏れや故障の原因になります。
- パッキンが外れていないか確認してください。

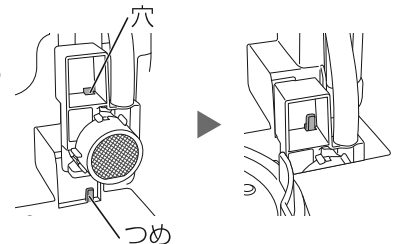
4 ポンプセットにポンプフィルターと羽根車を取り付ける

ポンプフィルターと羽根車、カバーを取り付ける。



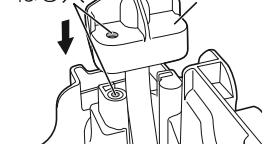
5 トレーにポンプセットを取り付ける

トレーのつめとポンプセットの穴を合わせて、まっすぐ下へ差し込む。

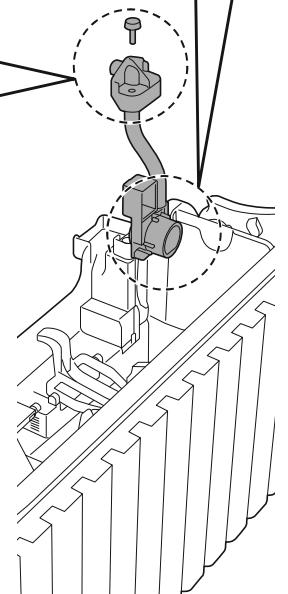


ねじ穴の位置を合わせて、ジョイントをトレーに差し込む。

ねじ穴 ジョイント



ねじをトレーに確実に取り付ける。

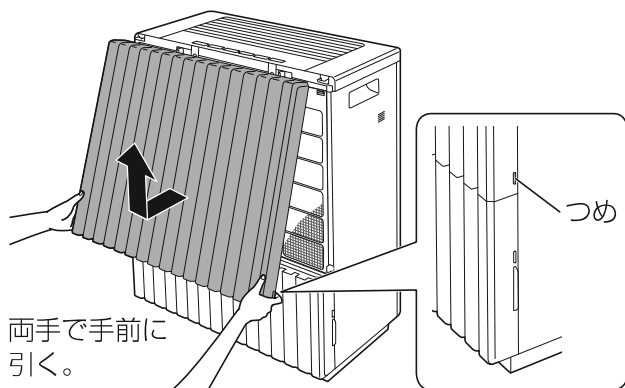


本体・フロントパネル <約1か月に1回>

よく絞った柔らかい布でふく

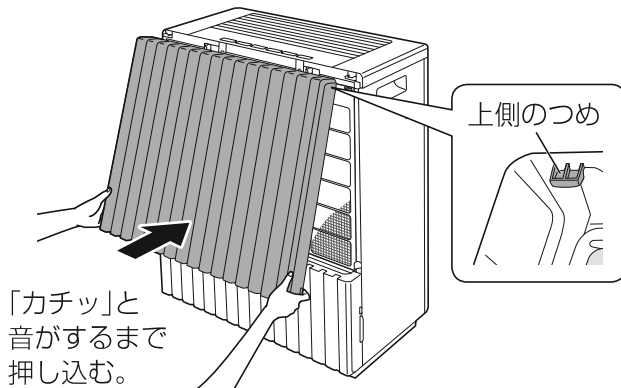
フロントパネルの外し方

フロントパネル両側のつめを押しながら、両手で手前に引き上げる。



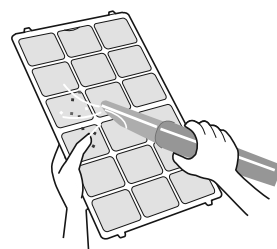
フロントパネルの取り付け方

- ①フロントパネル上側のつめを本体に引っかける。
 - ②フロントパネル下側を本体に押し込む。
- 必ずフロントパネルを取り付けて使用してください。



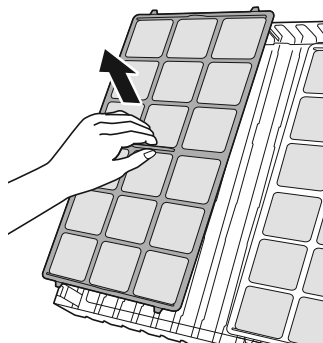
プレフィルター <約1か月に1回>

掃除機などで汚れを取る



プレフィルターの外し方

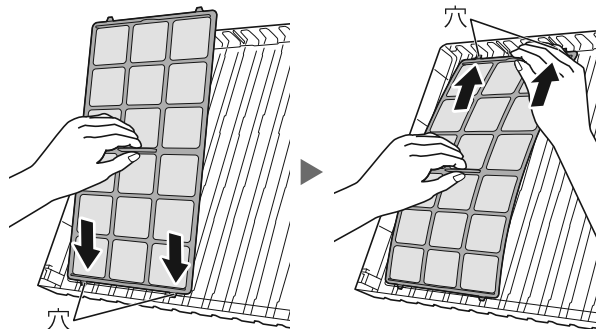
- ①本体からフロントパネルを外す。(本ページ「フロントパネルの外し方」参照)
- ②中央のつまみをつまんで、手前に引っ張る。(フロントパネルの裏側に取り付けてあります。)



反対側のプレフィルターも同様に外す。

プレフィルターの取り付け方

- ①下側の突起をフロントパネルの穴に差し込む。
- ②中央のつまみをつまんでプレフィルターをたるませながら、上側の突起を差し込む。



反対側のプレフィルターも同様に取り付ける。

お願い

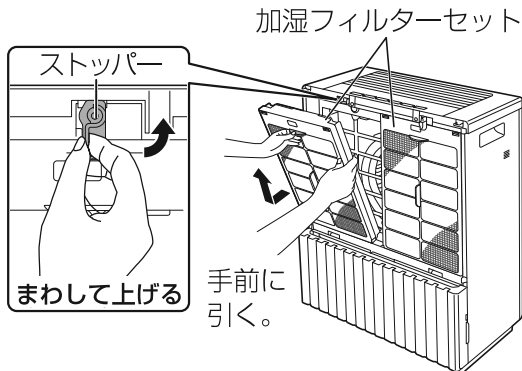
- プレフィルターを外したまま運転しないでください。(吸ったホコリが本体内部に入り、故障する原因)
- 破損した場合は、交換してください。(別売品:P.21)

お手入れする (つづき)

加湿フィルターセット <約3か月に1回>

加湿フィルターセットの外し方

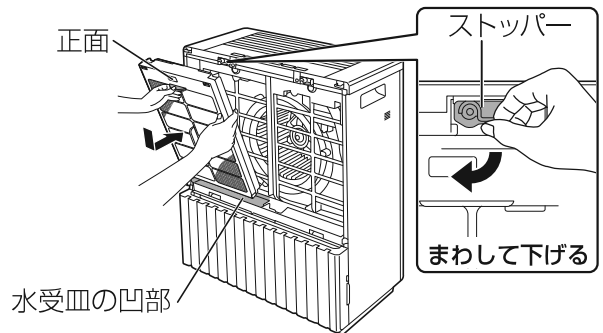
- ①本体からフロントパネルを外す。(P.17参照)
- ②ストッパーをまわして上げ、加湿フィルターセットを外す。



反対側の加湿フィルターセットも同様に外す。

加湿フィルターセットの取り付け方

- ①水受皿の凹部に加湿フィルターセットを「正面」の刻印を手前にして入れる。
- ②ストッパーをまわして下げ、加湿フィルターセットを止める。



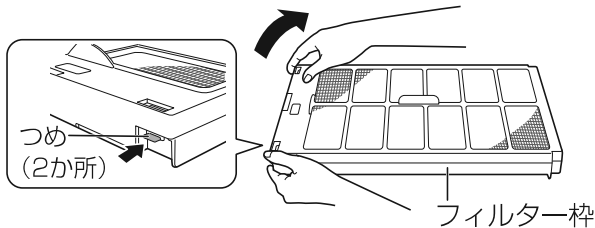
反対側の加湿フィルターセットも同様に取り付ける。

- ③フロントパネルを本体へ取り付ける。(P.17参照)

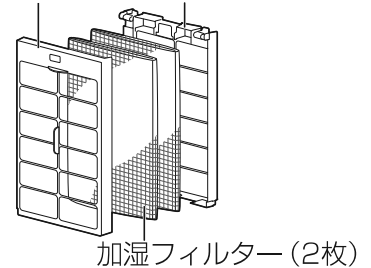
●外すときや取り付けるとき、持ち運ぶときは加湿フィルターセットから水がこぼれないようにしてください。

1 フィルター枠を外す

フィルター枠上部の2か所のつめを外す。



フィルター枠(押さえ) フィルター枠(受け)

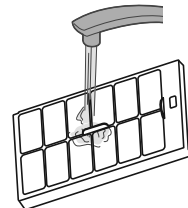


2 ■加湿フィルター 水かぬるま湯で押し洗いする

- ブラシなどでこすったり洗濯機で洗ったりしない。
- 乾燥機で乾かさない。(縮みの原因)



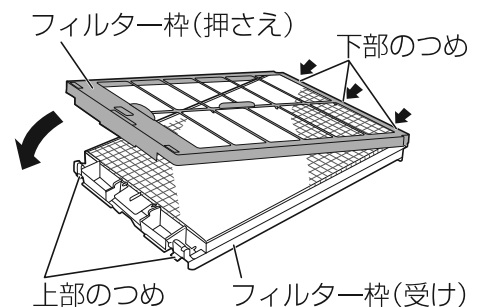
■フィルター枠 水洗いする



- しつこい汚れやニオイが気になるときは、「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.19)」参照。

3 フィルター枠を取り付ける

- ①フィルター枠(受け)に加湿フィルター (2枚)を入れる。
(加湿フィルターに裏表はありません)
- 加湿フィルターは、フィルター枠からはみ出したり、しわになったり、すき間がないように入れる。
(加湿量が少なくなる原因)
- ②フィルター枠(押さえ)をフィルター枠(受け)下部のつめ(3か所)に合わせて、上部のつめ(2か所)をはめ込む。
- お手入れ後、すぐに使う場合は、ぬれたままで構いません。収納する場合は十分に乾かしてから戻してください。



お知らせ

- 加湿フィルターはお手入れしないと縮むことがあります。
- 運転するときは必ず、加湿フィルターセットを取り付けて運転してください。取り付いていないとフィルター取付ランプが点滅し、運転しません。

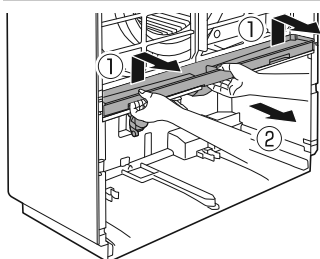
加湿フィルター交換の目安

(別売品:P.21)

- 約10年に1回です。(1日8時間運転の場合)
ただし、水質により寿命が変わるため、次の場合は交換してください。
・お手入れしても、ニオイが取れない。 ・タンクの水が、減らない。 ・傷みがひどい。
- 交換後は、使用開始日をラベルに記入し、本体側面に貼ってください。
- 加湿フィルターは不燃物として捨ててください。ただし、フィルター枠は、捨てないでください。

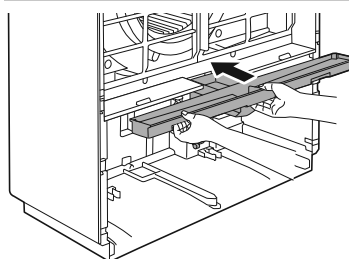
水受皿 <約3か月に1回>

水受皿の外し方



- ① 少し持ち上げて
左右のつめを外し、
- ② 水がこぼれないよう
に静かに引き出す

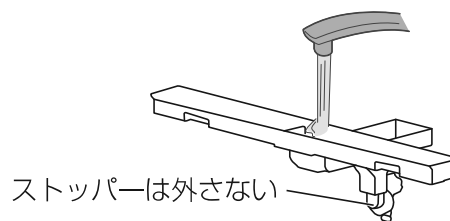
水受皿の取り付け方



水平にしてまっすぐ
差し込む

水ですすぎ洗いする

- 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
(ストッパー部に汚れがたまると水漏れの原因)
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(本ページ)」参照。



加湿機用洗剤 または クエン酸 の使い方

(別売品:P.21)

■ 加湿機用洗剤

2 L 当たり
1 目盛り
(約 20 mL)



■ クエン酸

3 L 当たり
2 パック (20 g)
または、大さじ
すりきり 2 杯



水か、ぬるま湯(約40℃以下)で、よく溶かす

- 濃度が高いと、破損の原因になります。
- 台所用中性洗剤もお使いになれますが、ニオイや汚れが落ちにくいことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ● フィルター枠 ● タンク ● ポンプセット 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水受皿 ● トレー 	加湿機用洗剤などを溶かした水で洗う
<ul style="list-style-type: none"> ● 除菌防カビユニット 		つけ置きする
<ul style="list-style-type: none"> ● 加湿フィルター 		つけ置き後、押し洗いする*

<つけ置きのしかた>

加湿機用洗剤などを溶かしたぬるま湯に部品を入れて約30分放置する。

- 加湿機用洗剤などを使ったときは新しい水で2～3回すすぎ洗いをします。クエン酸はすすぎが不十分だとニオイや故障の原因になります。

※ 加湿フィルターのみ、ニオイが気になるときは酸素系漂白剤でつけ置きしてください。(使用量は漂白剤の説明書をご確認ください)

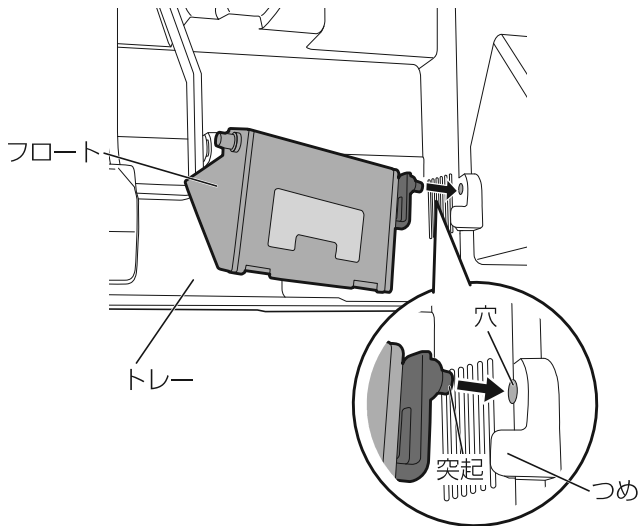
長期間使わないとき 保管方法

- ① 電源プラグを抜く。(停止時も電力を消費するため)
- ② タンクとトレーの水を捨て、すべてのお手入れをする。(P.14～19)
- ③ 内部をよく乾かす。(さびの発生による故障を防ぐ)
 - ・加湿フィルターは、十分に陰干しして乾かす。(カビの発生を防ぐ)
- ④ ポリ袋などをかぶせ、湿気の少ない所に立てて保管する。(寝かせたり、逆さにして保管すると、故障の原因)

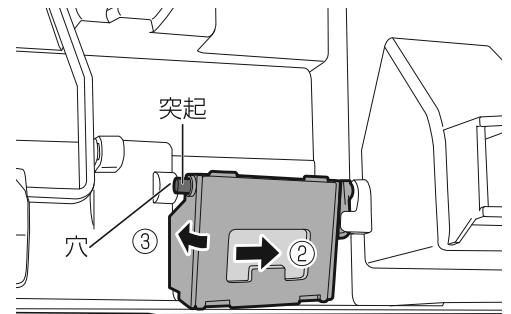
こんなときは

フロートが外れたとき

①フロートの突起をトレーのつめの下に入れ、
穴に差し込む。

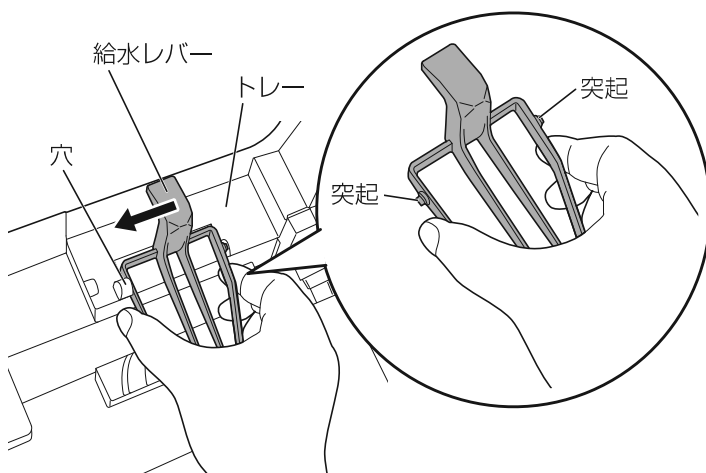


②フロートを矢印方向に押しながら、
③反対側の突起も穴に差し込む。

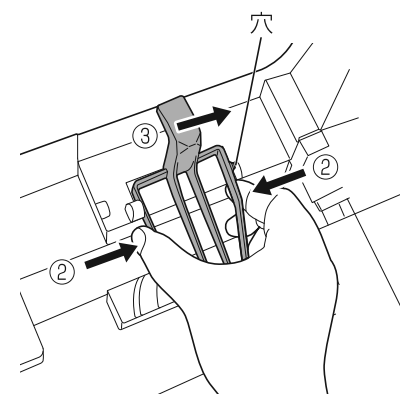


給水レバーが外れたとき

①給水レバーの両端をつかみ、
トレーの穴に片側の突起を差し込む。



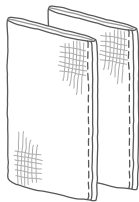
②給水レバーを内側に押しながら、
③反対側の突起も穴に差し込む。



別売品

(2017年9月現在)

■交換用加湿フィルター (1枠用2枚入り)

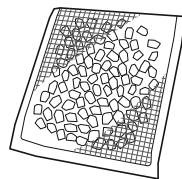


フィルター枠は付いていません。

品番:FE-ZPE23

メーカー希望小売価格:7,500円(税抜)

■交換用除菌剤



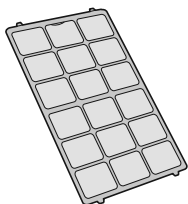
品番:FE-ZPM07

メーカー希望小売価格:1,500円(税抜)

サービスパーツ

お取り寄せになります。

■プレフィルター



部品品番:FKA0330198

メーカー希望小売価格:3,200円(税抜)

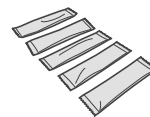
■加湿機用洗剤(400 mL)



部品品番:FE-Z40HV

メーカー希望小売価格:600円(税抜)

■クエン酸(10 g×5パック)



薬局などでも市販のクエン酸をお求めになれます。

部品品番:FKA2000005

メーカー希望小売価格:200円(税抜)

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でもお買い求めいただけます。

パナソニックグループのショッピングサイト

 Panasonic Store

<http://jp.store.panasonic.com/>

もっと知りたいとき

「nanoe(ナノイー)」について

発生する環境条件

- 「nanoe(ナノイー)」はお部屋の空気を利用して発生させるため、温度と湿度によっては発生しない場合があります。
- 発生条件:室内温度:約5℃～約35℃(露点温度:約2℃以上)
相対湿度:約30%～約85%

微量のオゾンが発生します

- 「nanoe(ナノイー)」発生時は、微量のオゾンが発生していますが、森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。

「nanoe(ナノイー)」技術について

■ 「nanoe(ナノイー)」

「nanoe(ナノイー)」とは、最先端のナノテクノロジーから生まれた、水に包まれた微粒子イオンです。「nanoe(ナノイー)」技術で、除菌★※1、アレル物質(花粉)抑制★★※2、カビ菌抑制★★※3、付着臭脱臭★★※4。さらにうるおい美肌空間へ。

- ★〈浮遊菌〉約6畳空間での4時間後の効果です。
- ★〈付着菌〉約6畳空間での8時間後の効果です。
- ★★約6畳空間での8時間後の効果です。
- ★★★約6畳空間での2時間後の効果です。

効果は試験空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。



脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)、運転時間、臭気・繊維の種類によって異なります。

※1 <浮遊菌>

- 試験機関: (一財)北里環境科学センター
- 試験方法: 約6畳の試験室内で、菌を浮遊させ、空気中の菌数を測定
- 除菌の方法: 「ナノイー」を放出
- 対象: 浮遊した菌
- 試験結果: 4時間で99%以上抑制
北生発24_0301_1号

※2

- 試験機関: パナソニック(株)解析センター
- 試験方法: 約6畳の試験室内で、布に付着させたアレル物質をELISA法で測定
- 抑制の方法: 「ナノイー」を放出
- 対象: 付着した花粉のアレル物質
- 試験結果: 8時間で88%以上抑制
BAA33-130402-F01

※4

- 試験機関: パナソニック(株)解析センター
- 試験方法: 約6畳の試験室内で、6段階臭気強度表示法による検証
- 脱臭の方法: 「ナノイー」を放出
- 対象: 付着したタバコ臭
- 試験結果: 2時間で臭気強度1.2低減
BAA33-130125-D01

<付着菌>

- 試験依頼先: (一財)日本食品分析センター
- 試験方法: 約6畳の試験室内で、布に付着させた菌数を測定
- 除菌の方法: 「ナノイー」を放出
- 対象: 標準布に染み付いた菌
- 試験結果: 8時間で99%以上抑制
第13044083003-01号
試験はそれぞれ1種類のみ菌で実施

※3

- 試験依頼先: (一財)日本食品分析センター
- 試験方法: 約6畳の試験室内で、布に付着させたカビ菌を確認
- 抑制の方法: 「ナノイー」を放出
- 対象: 付着したカビ菌
- 試験結果: 8時間で効果を確認
第13044083002-01号

除菌防カビユニットの働き

トレイ内の水および加湿フィルターを清潔に保ちます。

- | | |
|-----|--|
| 除菌 | 試験依頼先: (一財)日本食品分析センター
除菌の方法: 除菌防カビユニットをトレイ内に配置
第17059384003-0101号
試験方法: 日本電機工業会 自主基準 (HD-133) の性能評価試験にて実施
対象: 除菌防カビユニットを配置したトレイ内の水
試験は2種類の菌で実施
試験結果: 6時間で99%以上抑制 |
| | 試験依頼先: (一財)日本食品分析センター
除菌の方法: 除菌防カビユニットをトレイ内に配置
第17059384001-0101号
試験方法: 抗菌力試験方法(ハロー法)にて確認
対象: トレー内の水が浸透した加湿フィルター
試験は2種類の菌で実施
試験結果: 抑制を確認 |
| 防カビ | 試験依頼先: (一財)ボークン品質評価機構
防カビの方法: 除菌防カビユニットをトレイ内に配置
第09006504-1
試験方法: 防カビ試験方法(ハロー法)にて確認
対象: トレー内の水が浸透した加湿フィルター
試験結果: 抑制を確認 |

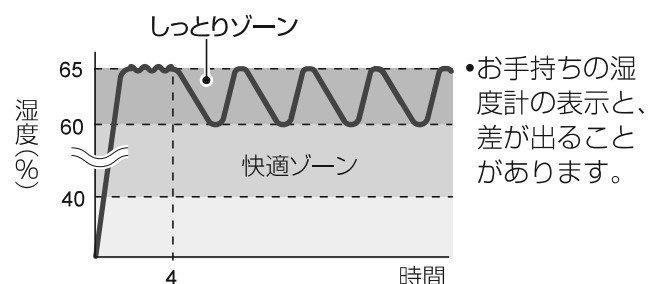
自動運転モード別の加湿のしかた

■ 「おまかせ」「静か」運転のとき

「おまかせ」は約60%、「静か」は約40%の湿度を保つため、自動的に加湿したり、止まったりします。

■ 「たっぷり」運転のとき

最初の4時間は、約65%の湿度を目安に運転します。4時間を過ぎると、自動的に加湿したり、止まったりし、約60～65%の湿度を保ちます。



よくあるお問い合わせ

お問い合わせや、修理を依頼される前に、まずご確認ください。

Q1 風がつめたい？

A

水を含んだ加湿フィルターから湿気が出る時、空気中の熱を奪うため、室温より低い温度の風が出ます。

- 吹出口から約30 cm上で室温より約5℃低い風が出ます。(室温20℃、湿度30%の場合)

Q2 加湿中、湯気は出ないの？

A

水を沸とうさせる方式ではなく、水を含んだ加湿フィルターに、風を当てて湿気を出す方式のため、湯気は出ません。

Q3 加湿量が少ない？

A

梅雨時の湿度が高いときや寒い日に、洗濯物が乾きにくいと同じで、室内の温度や湿度によって、加湿量が変わります。暖かくて乾燥しているほうが加湿量は増えます。

Q4 吸気口・吹出口から「ジー」と音がする？

A

「nanoe(ナノイー)」発生時は、わずかに音がします。使用環境や、運転モードにより、音が大きく感じたり、聞こえにくく感じたりすることがありますが、異常ではありません。
→加湿運転中に気になるときは、「nanoe(ナノイー)」をお切りください。(P.8)

Q5 窓や壁が結露する？

A

室内が適度な湿度でも、温度が低い窓や壁などでは、結露することがあります。

Q6 加湿フィルターが変色する？

A

水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。

Q7 湿度サインが「赤」のまま変わらない？

湿度サイン

30 40 50 60 70

■ ■ □ ■ ■

現在湿度の目安(%)

- **70** が点灯したままのとき
 - 設置場所により、湿度を正しく感知しないことがあります。
→設置場所を変えてください。(P.4)
- **30** が点灯したままのとき
 - 室内が、適用床面積より広すぎませんか？
→適用床面積をご参照ください。(裏表紙)

お知らせ

- 湿度サインは目安にしてください。
- 室内の湿度計の表示と、異なることがあります。
- 湿度は、温度の変化に応じて値が変わります。
- 空気の流れが良い所と悪い所では、湿度が異なることがあります。

Q8 トレー付近から音がする？

A

ポンプに入った空気を抜く音です。空気が抜けると音は止まります。音が鳴り続けるときは、いったん運転を「切」にして、トレーを入れ直してください。

必要なとき

故障かな!?

まず、次の確認をしてください。

それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

修理をご依頼の際には、タンクとトレーの水を捨て、内部および加湿フィルターをよく乾かしてください。

(さびの発生による故障を防ぐため)

こんなときは	ここを確かめてください
① 運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れランプが点灯していませんか？ →各部品をお手入れして(P.14～19)、フィルターを約3秒押ししてください。(P.11) お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になります。 ● フィルター取付ランプが点滅していませんか？ →加湿フィルターセットを正しく取り付けてください。(P.18)
② 風の出が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● プレフィルター(吸気口)が、ホコリで目詰まりしていませんか？ →目詰まりを取り除いてください。(P.17) ● 加湿フィルターに、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除いてください。(P.18)
③ ニオイがする タンクの水が減らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 加湿フィルターに、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除いてください。(P.18) ● トレーが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか？ →トレーをお手入れして、汚れを落としてください。(P.14) ● ポンプセットは、確実に取り付けられていますか？ →ポンプセットを正しく取り付けてください。(P.16) ● ポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除いてください。(P.16)
④ 加湿フィルターが ぬれていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 加湿フィルターの表面がぬれていない場合がありますが、フィルターの内側がぬれて加湿しますので、故障ではありません。 ● 加湿フィルターが乾いていて、タンクの水が減っていないときは、以下の原因が考えられます。 加湿フィルターセット、トレー、ポンプセットが確実に取り付けられていますか？ →加湿フィルターセット、トレー、ポンプセットを正しく取り付けてください。(P.7、13、16、18) トレーが汚れていたり、加湿フィルターやポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に水あかやゴミが付いていたりしませんか？ →トレーをお手入れして、汚れを落としてください。(P.14) →加湿フィルターやポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)の水あかやゴミを取り除いてください。(P.16、18)
⑤ 運転開始直後に カラカラと音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● ポンプが安定して水をくみ上げるまで、音がある場合があります。 →運転を「切」にして本体を停止させ、再度運転を開始してください。 数回繰り返しても音がある場合は、ポンプセットが外れていることがあります。一度ポンプセットを取り外して、正しく取り付け直してください。(P.16)

こんなときは	ここを確かめてください
⑥音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクから水が流れ落ちるとき、空気の抜ける「ポコポコ音」がすることがありますが、異常ではありません。 ●ポンプが定期的に水をくみ上げる音がしますが、異常ではありません。 ●ポンプフィルターに、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除いてください。(P.16)
⑦音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中に本体をゆすったり、傾けたりしていませんか？ →一度トレー内の水を捨て、新しい水に入れ替えてください。 (ポンプ内に入り込んだ空気を抜くため)
⑧水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●加湿フィルターセットやポンプセットは、確実に取り付けられていますか？ →加湿フィルターセット、ポンプセットを正しく取り付けてください。(P.16、18)
⑨運転ランプが点灯しているのに加湿しない 室内の湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●湿度サインが「70 %」になっていませんか？ (P.8、23) →自動運転の「たっぷり」「おまかせ」では、快適湿度を保つため、「70 %」では加湿をしすぎないように、加湿運転を停止します。 ●自動運転の「静か」になっていませんか？ (P.9) →自動運転の「静か」では、快適湿度を保つため、湿度サインが「40 %」以上では加湿をしすぎないように、加湿運転を停止します。 ●加湿フィルターは、正しく取り付けられていますか？ (P.18) →はみ出して取り付けしていると、加湿していないことがあります。 ●給水レバーは、正しく取り付けられていますか？ (P.20) →正しく取り付けしていないと、加湿しないことがあります。 ●室内が、適用床面積より広すぎませんか？ (裏表紙) ●換気をしたり、床がじゅうたん敷きではありませんか？ →じゅうたん敷きの場合や、換気状態・床や壁の材質によっては、湿度が上がりにくいことがあります。
⑩タンクに水が入っているのに、給水ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●トレーは、奥まで確実に取り付けられていますか？ (P.7、13) ●本体が傾いていませんか？ →水平で安定した、台や床の上に設置してください。 ●フロート、給水レバーが正しく取り付けられていますか？ (P.20)
⑪トレーを本体に取り付けにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクは確実に取り付けられていますか？ (P.7、13) →正しく取り付けしていないと、トレーを本体に取り付けにくい(外れにくい)ことがあります。
⑫電源プラグを抜いたときに、サインやランプがすぐに消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体に残っている電気でサインやランプが点灯しています。 →しばらくすると消えます。
⑬運転が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボタンを8秒以上押し続けると、安全のため運転を停止します。 運転 切/入 を押し、再度運転を開始します。

故障かな!?(つづき)

点検ランプが点灯したときは、必ず、電源プラグを抜いて、次の確認をしてください。
それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

こんなときは	ここを確かめてください
⑭点検ランプが点灯し、 連続運転ランプの「弱」「中」 「強」が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●プレフィルター(吸気口)が、ホコリで目詰まりしていませんか? →目詰まりを取り除いてください。(P.17) ●運転停止直後、すぐに運転を再開したり、運転 切/入 を何度も押し たりしていませんか? →運転停止後はしばらく経ってから運転を開始してください。
⑮点検ランプが点灯し、 チャイルドロックランプが 点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に、水あかやゴミが 付いていませんか? →水あかやゴミを取り除いてください。(P.16) ●ポンプセットは、確実に取り付けられていますか? →ポンプセットを正しく取り付けてください。(P.16) ●運転停止直後、すぐに運転を再開したり、運転 切/入 を何度も押し たりしていませんか? →運転停止後はしばらく経ってから運転を開始してください。
⑯点検ランプが点灯し、 自動運転ランプの「静か」 「おまかせ」「たっぷり」が 点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に、水あかやゴミが 付いていませんか? →水あかやゴミを取り除いてください。(P.16) ●ポンプセットは、確実に取り付けられていますか? →ポンプセットを正しく取り付けてください。(P.16)
⑰点検ランプのみ点灯 している	<ul style="list-style-type: none"> ●本体が、転倒していませんか?または傾いたり、倒れたりしたことが ありませんか? →1. 電源プラグを抜いていることを確認し、本体を起こす (こぼれた水はふき取る) 2. 半日以上使わず、置いておく(内部に水が入った場合、完全に 乾かすため) 3. 再度、電源プラグを差し込み、運転する ●本体の上に磁石や金属物を置いていませんか?または置いたことが ありませんか? →磁石や金属物が置いてある場合は取り除いてください。 (P.4)

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「よくあるお問い合わせ」「故障かな!？」(23～26ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	気化式加湿機
●品番	FE-KXP20/FE-KXP23
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(ただし、プレフィルター、加湿フィルター、除菌剤は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、この気化式加湿機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

フィルターなどの消耗品(別売品)とは異なります。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

必要なとき

仕様

品番	FE-KXP23				FE-KXP20		
電源	交流100 V 50/60 Hz						
運転モード	連続運転				連続運転		
	ターボ	強	中	弱	強	中	弱
消費電力(W) ^{*1}	46	32	18	8	32	18	8
運転音(dB)	44	40	34	25	40	34	25
加湿量 ^{*2} (mL/h)	2300	2000	1500	1000	2000	1500	1000
適用床面積 (FE-KXP23: 連続「ターボ」運転時 FE-KXP20: 連続「強」運転時)	木造 和室64 m ² (39畳) プレハブ 洋室106 m ² (64畳)				木造 和室56 m ² (34畳) プレハブ 洋室92 m ² (56畳)		
タンク容量	約12 L (約6 L×2)						
コードの長さ	1.8 m						
製品寸法 (幅×奥行き×高さ)	560 mm × 280 mm(+脚部 25 mm) × 700 mm						
製品質量	約16.1 kg						

※1 運転が「切」のときの消費電力は、約0.4 Wです。(電源プラグを差し込んでいる状態)
フィルター清潔運転のときの消費電力は約2 Wです。

※2 室内温度20℃、湿度30%の環境における加湿量です。室内の温度や湿度によって、加湿量は変わります。(P.23)

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。
また、アフターサービスもできません。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

**空質・電池・暖房
使い方・お手入れなどのご相談窓口**

フリーダイヤル  パナは ロクキュウハチ
0120-878-698 受付時間 9:00~18:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル  パナは イイヨ
0120-878-554

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**
■FAX フリーダイヤル  **0120-878-225**


便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>



・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

愛情点検 長年ご使用の気化式加湿機の点検を!



こんな
症状は
ありま
せんか

➔

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、運転が止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする。
- その他の異常や故障がある。

➔

ご使用
中止

➔

事故防止のため、
運転を停止し、
コンセントから電源
プラグを抜いて、
必ず販売店に点検を
ご依頼ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2017

Printed in China
KXP238770AH
F0417H1028

【業務用加湿器 FE-KXP23】

返却時の梱包手順

①		<ul style="list-style-type: none">• 2本のPPバンドの上を下箱を置きます。 <p>下箱の【前】を確認してください。 前後を反対にしてしまうと本体が入りません。</p>
②		<ul style="list-style-type: none">• 下箱の中に返却用のビニール袋を広げてください。 <p>本体を箱の中に入れる前に、コードは束ねておいてください。</p>
③	 <p>必ず返却用ビニールをご使用下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 本体を、下箱に広げたビニール袋の中に入れます。 <p>返却時、加湿器の中のお水はすべて捨ててください。</p> <p>水が入ったまま返却されると、配送中に漏れた水で、ほかのお荷物を濡らしてしまう原因になります。</p> <p>配送中に他のお荷物に損害があった場合、お客様に弁償していただく場合がございます。</p>

④		<ul style="list-style-type: none"> • コードは隙間に入るように入れてください。 <p>(見やすいようにビニール袋は外して撮影しています。)</p>
⑤		<ul style="list-style-type: none"> • 加湿器全体をビニール袋で覆います。
⑥		<ul style="list-style-type: none"> • 本体に衝撃吸収の発砲スチロールを被せます。 <p>【前】を確認して被せてください。</p>
⑦		<ul style="list-style-type: none"> • 衝撃吸収の発砲スチロールを、しっかり下まで押し込んでください。 <p>上からしっかり押し込んでください。</p>

<p>⑧</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 本体の上取扱説明書を置き、上箱を被せます。
<p>⑨</p>		<ul style="list-style-type: none"> • PPバンドをとめてください。 <p>PPバンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時PPバンドの使用方法」にてご確認ください。</p>
<p>▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div data-bbox="279 1126 970 1290" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>お届け時の伝票の下にある赤い伝票が返却用の伝票です。</p> </div> <div data-bbox="976 1061 1422 1301">  </div> </div>		

梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。